

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

どんな環境にも会社を安定させられる手段を考えておく 塚越 寛 (伊那食品工業会長)

1. 経済環境の変化は会社の経営に大きな影響を与える。だが経営者ならば、どんな環境が訪れても会社を安定させられる手段は常日頃、考えておかねばならない。商品の売り方一つを取ってもそうだ。多くの経営者は成長を好むため、巨額の広告宣伝費を投じたり、大量の商品をさばける販路を開拓したりして、一つでも多くのヒット商品を生み出そうとする。たまたまヒットすれば当然、売り上げは伸びる。しかし、その後に衰退期が必ずやってくる。ヒットを長期にわたって出し続けることは困難だからだ。
2. 変動する環境の中で経営者が成長だけを求めると、組織の中に無理が生じてくる。「この世に生き残る生物は、力の強いものではなく、頭の良いものでもない。変化に適応できるものだけ」とは、チャールズ・ダーウィンの言葉だ。会社も同じ。どんな環境変化にも適応できる力を身につけることが重要だ。そのために経営者は、長期的視点で物事を見る力を養っておきたい。
3. また、品薄の時代が来ても生き残れるのはどんな会社か。「常に仕入先を大事にしている会社」だ。日頃から相手に敬意を尽くしていれば、困った時に手を差し伸べてもらえる。仕入先に限った話ではない。協力会社や顧客も同じだ。いかに長期的に物事を見る視野を持てるか。不安定な経済環境の今こそ、この技量が経営者に求められている。

(参考:「日経ビジネス」2016年2月27日号)

人事・労務について

パワハラ対策の7つの取り組み

厚生労働省の平成 24 年度の調査では、「パワハラ」の予防・解決に経営上の課題として重要であると認識している企業が 80%を超えた。一方、すでにパワハラ対策を実施している企業は約 45%にとどまる。

1. トップからのメッセージ
2. 社内ルールを決める (パワーハラスメント防止規程等の制定)
3. 実態を把握する (従業員アンケートの実施)
4. 研修する (管理職や従業員向けの研修の実施)
5. 周知する (会社の方針について社内掲示等)
6. 相談や解決の場を設置する (相談窓口の設置)
7. 再発防止のための取り組み (継続的な予防のための取り組み等)

(参考:「週刊東洋経済」:2016年2月27日号)

経営者の危機管理

戦いに敗れて消える塾の数 (年間数千)

1. 少子化が急速に進む中でも、学習塾は毎年 5 万ヶ所を超える事業所数をキープし、その中で「大手塾対大手塾」、または「大手塾対中小塾」といった壮絶な戦いを繰り広げている。その結果、戦い敗れて消えていく塾の数は、年間数千にも上るとされ、まさに「食うか食われるかの戦い」といったありさまだ。
2. 塾を選ぶ際に、保護者がまず注目するのが、その塾の「強みと弱み」だ。かつては自塾の良い面だけをチラシで連呼すれば生徒が集まったが、今はその逆。保護者はその塾の弱みを知らうとする傾向にある。すなわち、この厳しい状況の中で塾が生き延びていくためには、自塾の強みだけでなく、弱みをしっかり把握しておく必要がある。その上で、弱みを強みに変える努力をすることこそ、生き延びる道だ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2016年3月5日号)

古典に学ぶ

王陽明と新約聖書

(解説) ここで、この主題を論じているさいだが、しばらく脱線するおゆるしを乞いたい。というのも、最も高潔な武士の何人かは、この賢者の教えにつよく影響されたからである。西洋の読者なら王陽明の著述中に、新約聖書と似た例を、いくつもたやすく認められよう。それぞれの教えに特有な用語を考慮すれば「何よりもまず神の国と神の義を求めなさい、そうすれば、これらのものはみな、加えて与えられる」という句は、王陽明のほとんどのページにも見出される思想を伝えている。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」:教文館)